

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 4490100122 | | |
| 法人名 | 医療法人進修会 | | |
| 事業所名 | グループホームおおつか(南) | | |
| 所在地 | 大分県大分市住吉町1丁目2番16号 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年1月8日 | 評価結果市町村受理日 | 平成25年3月15日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------|--|--|
| 評価機関名 | 福祉サービス評価センターおおいた | | |
| 所在地 | 大分県大分市大津町2丁目1番41号 | | |
| 訪問調査日 | 平成25年1月28日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

市内中心部に位置し、買い物や、面会なども便利です。医療機関が併設され、24時間訪問看護ステーションと連携をとっている為、医療面においても安心して暮らしていただいています。お一人お一人に合った栄養バランスのとれた食事を提供し、喜んでいただいています。入所されている方々、お一人お一人の尊厳を大切に、支援させていただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は市内中心部にあり、生活に便利で家族も近隣の方が多く面会も頻繁に来ている。裏通りは静かな環境で、川があり散歩コースにしている。近隣との馴染みの関係もできており、継続支援を図っている。新人研修に対しても熱心で、接遇マナーにも力を入れている。職員一人ひとりが礼儀正しく利用者に対しても尊厳を重視し対応している。職場内環境も良く話しやすい雰囲気作りに努めチームケアを実践している。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | | 項目 | | 取り組みの成果 該当する項目に印 | |
|----|--|---------------------|--|----|---|---------------------|--|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の | | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | 1. ほぼ全ての家族と | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 家族の2/3くらい | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. 家族の1/3くらい | |
| | | 4. ほとんど掴んでいない | | | | 4. ほとんどできていない | |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある | | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | 1. ほぼ毎日のように | |
| | | 2. 数日に1回程度ある | | | | 2. 数日に1回程度 | |
| | | 3. たまにある | | | | 3. たまに | |
| | | 4. ほとんどない | | | | 4. ほとんどない | |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が | | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 1. 大いに増えている | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 少しずつ増えている | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. あまり増えていない | |
| | | 4. ほとんどいない | | | | 4. 全くいない | |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が | | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | 1. ほぼ全ての職員が | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 職員の2/3くらい | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. 職員の1/3くらい | |
| | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない | |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が | | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 利用者の2/3くらい | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. 利用者の1/3くらい | |
| | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない | |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が | | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 家族等の2/3くらい | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. 家族等の1/3くらい | |
| | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどできていない | |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が | | | | | |
| | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | | |
| | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | | |
| | | 4. ほとんどいない | | | | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 散歩を通じて、地域の方との交流を行う等理念を共有して実践につなげている | 事業所の理念である「かたりかけ といかけよりそい 地域と共に歩む」を職員一人ひとりが理解し、地域交流や尊厳を重視したケアに努めている。外部の方にも理解を深めてもらうため、事業所内に掲示している。 | |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の祭りや施設の長寿祭・消防訓練に地域の方に参加して頂き、お互い交流し合っている | 毎日の散歩にも挨拶を欠かさず、近隣の方達との交流も深まっている。地域の行事にも地域の一員として参加している。開所時からの毎月の保育園児の訪問も利用者の楽しみになっている。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 事業所の祭りを通じて、地域の方に施設の紹介を行い、見学をして頂くことで相互理解を深めている。 | / | / |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | サービス内容や困難事例を提起し、地域の方や利用者・ご家族等の助言を取り入れサービスの向上に生かしている | 2ヶ月に一度開催し、取組や困難事例について、助言を受け反映させている。地域の住民の方も入っており、情報交換もでき、家族の理解も深まるような工夫をして、サービスの向上に繋げている。 | |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 市町村担当者に困難事例や実情を報告し、情報・指導を頂き協力関係を築いている。 | 必要に応じ、訪問、電話などで報告や相談をし助言を受けている。困難事例に対しても様々な相談をし、解決に向け取り組んでいる。包括支援センターとも協力関係が築かれている。 | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員が身体拘束についての理解に努め、対応困難な場合は皆で話し合い拘束の無きよう取り組んでいる | 玄関やベランダも自由に出入りでき、開放的である。見守りを重視したケアを実践している。勉強会で理解を深め、問題がある場合は話し合いを持ち、拘束しないケアを実践している。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 施設勉強会やミーティング等で話し合いを行い、日頃のケアの中でお互いに指摘し合い防止に努めている | / | / |

事業者名: グループホームおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 現在は学ぶ機会を設けていないが、以前1名の制度利用者が居た際勉強会を行った。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居時や変更時に丁寧に説明を行い、十分に理解・納得を得られるよう努めている | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時や家族会を通じて意見を伺い、思いを汲み取り、出来る限り反映している | 年一回は家族会を開催し、意見交換を行っている。面会時にも気軽に相談できる雰囲気作りに努め、出された意見は運営に反映している。またアンケートも実施し、把握に努めている。 | |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ミーティングや日頃のコミュニケーションの中で、意見や提案を出しやすいよう努めている | 個人評価表を基に年二回個人面談を実施し、意見や提案などの把握に努めている。業務内容なども柔軟に変更し、ケアに反映できるように努めている。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 代表者や管理者は、職員個々の能力を評価し、各自が向上心を持って働けるよう職場環境の整備に努めている。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部の研修などに参加できる機会を設け、研修終了後は職員間で情報の共有を図れるようにしている。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 宅老所・グループホーム連絡協議会に加入し主催の勉強会などに参加し職員同士のネットワーク作りに取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前に情報を収集し、把握した上で、生活状況を実際に見、コミュニケーションを取る事で理解に努め、安心出来る環境・関係作りを築いている | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ケアマネが初期にゆっくりと話を伺う事で、家族の思いをくみ取れるよう努めている | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 家族の思いをゆっくりと傾聴し、真のニーズを引き出し、短期・長期目標を立て 今必要としている支援が出来るよう努めている | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 本人の出来る力を見極め、役割を持ち生活をする事で共に支えあっている | | |
| 19 | | 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 日頃の様子や要望を伝え、家族と共に、墓参りや慰霊祭への出席を行っている | | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 日頃の会話の中から思いを汲み取り、馴染みの場所へ出かけたり、友人や家族の面会の際写真を撮り、居室に飾る等支援に努めている | 一人ひとりの馴染みの関係継続を大事にし、機会を設け外出支援をしている。友人、知人の面会も積極的に受け入れている。また、入居後、近隣の方達との馴染みの関係になれるように支援している。本人の希望に合わせスーパーに買い物に行くなど柔軟に対応している。 | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士の関係を把握し、座席に配慮し皆が楽しめるよう職員が調整役となり支援している | | |

事業者名: グループホームおおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 手紙や電話で経過や近況を伺い相談支援に努めている | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の関わりの中や意思の確認を行う事で、気持ちよく生活して頂けるよう支援している | 日々の関わりの中で表情や言動、行動を把握し、職員で共有するため、気づきシートに職員が記入し、本人本位に対応できるよう検討している。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人や家族からの聞き取りを継続して行う事で、サービスに反映出来るよう努めている | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の生活、その時々に応じて本人の意向に添いながら生活して頂けるよう支援している | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日頃の生活の中から本人の思いを汲み取り、家族の要望と合わせプランを作成し、ケア会議を行いより良いケアが出来るよう取り組んでいる | 毎月のケア会議で全利用者のカンファレンス、モニタリングを実施し、情報の共有を図り、計画作成している。本人、家族の意向も確認し説明、同意を得ている。変化があった場合も現状に即した計画変更を行っている。 | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 気づきシートや個別ファイルへの記録により、情報の共有を行いサービスやプランに活かしている | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人や家族のニーズに対応すべく柔軟な支援、サービスに取り組んでいる | | |

事業者名: グループホームおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ニーズの中から、必要な地域資源と結びつけ、近隣の保育園との交流やイベントなど、楽しんで生活できるよう努めている。 | | |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 家族と本人の希望を尊重し、かかりつけ医の希望を大切に、医師との関係が途切れないよう支援している。 | 家族の希望に添って受診支援をしている。専門医の往診もあり対応している。受診内容を記録に残し、職員間で共有している。関係機関との協力体制も築かれている。 | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 訪問看護との連携により、情報の共有をはかり、個々の利用者が適切な医療を受けられるよう支援している。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時の情報提供や、入院中の情報の把握に努め、早期に退院ができるよう努めている。 | | |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 事前の説明や、直面したときの家族との話し合いを行い、医師、訪問看護師等と連携をとり、方針を共有し、チームで支援に取り組んでいる。 | 重度化に向け、事前に話し合いをし、意向の確認を行っている。訪問看護ステーションとも24時間体制で連携を図り、法人内の医療機関とも協力関係がある。現在看取りケアを実施している。 | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 定期的には行っていないが、すべての職員が応急手当、初期対応の訓練を行い、対応できるよう備えている。 | | |
| 35 | (13) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | さまざまな災害を想定し、定期的に訓練を行っている、消防署や地域の方々にも参加していただき協力を得ている。 | 年二回、消防署立ち合いでの避難訓練を地域の住民参加で実施している。夜間想定訓練、防災訓練なども実施している。備蓄に関しても3日間程度の確保をしている。 | |

事業者名: グループホームおおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりにあわせた声掛けを行い、人格を尊重している。又、職員同士でも指導しあい、意識を高めて対応している。 | 職員一人ひとりが利用者の人格を尊重し声掛けや対応に努めている。一人ひとりに合った声掛けを心掛けている。状況に応じて、指導や助言も行っている。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 希望を伝えやすい関係作りや、その時々で、自己決定できるよう努めている。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの生活スタイルが違うので、本人の意思を尊重し希望にそえるよう支援している。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | おしゃれや身だしなみについても本人の自己決定を尊重し支援している。 | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 一人ひとりの力を活かし、役割を持って、準備や片付けなど、楽しんでいただけるよう、共に行っている。 | 個人の能力に応じた役割を持ってもらい、楽しんでもらえるように支援に努めている。職員と一緒に食事をとり、会話を楽めるよう支援している。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 声掛けの工夫や、細やかな形状の変更を行い、安全に食事がとれるよう支援している。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケアを促し、一人ひとりの力の応じた方法で支援している。 | | |

事業者名: グループホームおおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 訴えない方は、小さなサインを見逃さないようし、又、排泄のパターンを把握しトイレ誘導を行うなど支援している。 | 個々の排泄パターンを把握し、排泄チェック表を基に誘導、声掛け、見守りを行い、自立支援に取り組んでいる。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 運動や飲食物の工夫やマッサージなど、一人ひとりに合わせ行い、スムーズな排便が行えるよう支援している。 | | |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 希望に添えるよう、本人の意思を尊重し、楽しく入浴していただいている。 | 希望に応じて、時間や曜日が選択できるようにしている。嫌がる方に対しても環境を変えたり、声掛けの工夫を行い、スムーズに入浴できるように支援を行っている。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりに合わせたベットや布団で、気持ちよく安眠していただき、休息も本人の状況にあわせ支援している。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 内服の変更時なども連携ノートで、情報の共有をはかり、経過や変化の確認に努めている。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人ひとりの力を見極め、楽しんで行える役割を持ち、張り合いを持てる生活ができるよう支援している。 | | |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 会話の中から、希望を把握し、ドライブや散歩など、家族の協力もえながら、個人個人の状態を見て支援している。 | 天気の良い日は近隣の散歩や季節に応じた外出支援、近くのゲームセンターで楽しんだり、家族の協力でホテルでのランチに行くなど、希望に添って支援している。 | |

事業者名: グループホームおおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 本人の希望により、お金を自分で所持されている方もいる。外食や買い物の際は、本人の手から支払っていただけるよう支援している。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 家族へ電話をしていただいたり、手紙が書けるよう支援している。 | | |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居心地の良い共用の空間作りに努め、温度、湿度なども調節し、季節感を味わえるよう支援している。 | 手作りの布のカレンダーを作り、その日がわかるような工夫、季節感が感じられるような飾り付け、適度な生活音、ソファなどの位置の工夫など居心地良く過ごせるようにしている。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 一人ひとりが希望の場所で過ごせるよう支援している。北、南どちらでも過ごせるよう職員同士が協力しあい支援している。 | | |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 一人ひとり、馴染みの物を持参し、趣味や、習慣が継続できるよう支援している。 | 個々の個性や趣味、馴染みの物や仏壇などを置き安心して生活が送れるように支援している。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | トイレや居室など分かりやすいよう工夫し、安全に自立した生活が送れるよう、障害物などは取り除いている。 | | |

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 4490100122 | | |
| 法人名 | 医療法人 進修会 | | |
| 事業所名 | グループホームおおつか(北) | | |
| 所在地 | 大分県大分市住吉町1丁目2番16号 | | |
| 自己評価作成日 | 平成24年12月20日 | 評価結果市町村受理日 | 平成25年3月15日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------|--|--|
| 評価機関名 | 福祉サービス評価センターおおいた | | |
| 所在地 | 大分県大分市大津町2丁目1番41号 | | |
| 訪問調査日 | 平成25年1月28日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

市内中心部に位置し、買い物や、面会なども便利です。医療機関が併設され、24時間訪問看護ステーションと連携をとっているため、医療面においても安心して暮らしていただいています。お一人おひとりに合った栄養バランスのとれた食事を提供し、喜んでいただいています。入所されている方々、お一人お一人の尊厳を大切に、支援させていただきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホームおおつか(南)と同様

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当する項目に印 |
|----|--|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------|-----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念を基に、地域と密着した取り組みと、個別ケアの統一をはかっている。 | | |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域イベントの参加や、保育園の子供達を招待し、交流を持ち、つながりを重視している。 | | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域イベントの参加や、事業所企画のお祭り（長寿祭）を通じ、認知症への理解を深めていただいている。 | / | / |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1度実施し、話し合った意見や助言をもとに、サービスの向上に取り組んでいる。 | | |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 日ごろから、連絡を密にとり、協力関係を築いている。 | | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 玄関などの施錠をせず、利用者が自由且つ安全に暮らせるよう、見守りを徹底し、身体拘束のないケアをしている。 | | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 施設勉強会や職員での話し合いで、相互に指導が行えている。 | / | / |

事業者名: グループホームおおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 今年度は、施設での勉強会にて取り上げなかった為、個人個人で講習に行き、知識を学び、活用できるよう対応している。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 十分な説明をして、ご家族の方が納得した上での契約を図っている。 | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族訪問時や家族会で、要望、意見について相談できる場を設けている。 | | |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ミーティング会議や個人面談にて、意見や提案を話し合う場を設けている。 | | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 代表者や管理者は職員個々の能力を評価し、各自が向上心をもって働けるよう働きやすい環境整備努めている。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部の研修などに、積極的に参加できるよう推進し、研修後は、情報を職員で共有している。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 宅老所・グループホーム連絡協議会に加入し、主催の勉強会、研修会などに参加し相互理解を深めるよう取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 会話を通じ本人の気持ちの移り変わりを常に汲んで、希望や要望を重視したケアを行い、信頼関係を築いている。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | サービス導入時は家族と密に連携をとり、細かい情報を提供し安心していただけるよう努めている。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | グループホームだけではなく、本人の状態等を鑑み、在宅の介護支援専門員などと、相談をし、本人、家族の「その時」一番良いサービスを提案している | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 人生の先輩として、尊敬し、家事や趣味を共に行うことで、やりがいを持っていただき、感謝と支えあいの関係を築いている。 | | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 本人と家族の関係を大切にし、本人の情報を常に家族に伝え情報の共有をはかり、お互いで支える関係作りに努めている。 | | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 継続的な関係が築けるよう、面会や外出など、積極的に支援している。 | | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 一人ひとりの性格を十分に把握し、その時々状況に沿って、職員が間に入り、お互いが話し易く、支え合えるよう支援している。 | | |

事業者名: グループホームおおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約終了以降も、家族宛の手紙を交流のひとつとして、継続している人もいます。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | プラン作成時に(定期的に)本人や家族の希望、意向を確認し、望まれる一番良い方法を検討し、支援に努めている。 | | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人や家族とコミュニケーションを多くとり、生活歴や、趣味といったこれまでの暮らしを聞きながら、変化のないよう、維持に努めている。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの生活のリズム、行動を理解し、その人の出来ることや、出来る可能性のあることの、把握に努めている。 | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月のケア会議で、利用者の現状を照らし合わせながら、職員全員の意見を集め、家族、本人からも情報収集をし、現状に即した介護計画を作成している。 | | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個人記録とは別に、気づきシートを設け、実践や結果を元に、サービスの改善点や気づきを、職員間で共有している。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 入院時の洗濯、買い物など、本人や家族の状況を見て、臨機応変に対応している。 | | |

事業者名: グループホームおおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 近隣のスーパーに買い物に行ったり、保育園などと交流し、とても喜ばれている。 | | |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 毎月の通院時に最近の状況など記録を渡し連携を密にとっている。 | | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 訪問看護師と連携を密にとり、日々の変化や気づきを伝え、健康管理や相談、助言に基づき支援を行っている。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | スムーズに入院、退院が出来るよう、関係機関と情報の交換をおこなっている。 | | |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 看取りについて、ご家族の意向を踏まえ、ご家族と連携を密にした看取りを行えるよう、十分な説明をしている。 | | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 消防署の職員の協力を得ながら、定期的な救急蘇生法などの研修に参加している。 | | |
| 35 | (13) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的な避難訓練を行い、いざという時に助けていただく為に、地域の避難訓練にも参加をし、連携をとっている。 | | |

事業者名: グループホームおおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 認知症の方にとって、一番重要なことであるため、常に敬意を持ち、適切な対応を心がけている。 | | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者に合わせた声掛けをし、思いや希望を職員で情報を共有し、自己決定できるよう努めている。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりのペースに合わせて、職員の声掛けの表現に配慮しながら、意志を大切に過ごせるよう支援している。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 個人の好みで、化粧・整容をしていただいたり、着たい服を職員と一緒に選んでいる。 | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事のつぎ分けや、汁作りを一緒にし、食器洗いなど出来ることは、一緒にしていただいている。 | | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 摂取量のチェック、体調変化を見ながら、栄養バランスに配慮した食事、補食を支援している。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 利用者の状態や、力に応じた歯磨きの見守り、介助を毎食後行っている。 | | |

事業者名: グループホームおおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 尿意、便意を尊重しつつ、個々の排泄パターンを把握し、トイレで排泄が出来るよう、自尊心に配慮して、声掛け、対応を行っている。 | | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 水分補給や腹部マッサージ、体調に合わせた適度な運動により、薬に頼らない予防に取り組んでいる。 | | |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 本人の希望や体調に合わせ、無理のない支援を行っている。 | | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 昼夜逆転にならない範囲で、日中の活動を促し、生活リズムに合わせ、ゆっくり睡眠が取れるよう支援している。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 職員が服薬管理、介助をし、薬の変更時の状態変化に注意している。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 持っている力を活かすため、家事や趣味の時間を持って、楽しんでいただき、レクリエーションや戸外への散歩で気分転換をはかっている。 | | |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 家族へ外出の相談をし、デパートや食事に行かれる方もいますが、本人の意向を聞きドライブや外食に、職員と一緒に出かけられるよう支援している。 | | |

事業者名: グループホームおおつか

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>買い物や食事に行った際、お金を預け、自分で支払いをしていただけるよう、支援している。</p> | | |
| 51 | | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>希望があった時には、電話をしたり、手紙のやりとりが出来るよう支援している。</p> | | |
| 52 | (19) | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>共用空間が居心地のよい場所となるよう、季節感を出し、家庭的な雰囲気作りを心がけている。</p> | | |
| 53 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>ソファやダイニングテーブルを配置して、仲の良い利用者同士でくつろいだり、TVやDVDを見て、ゆっくり過ごす環境を作っている。</p> | | |
| 54 | (20) | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>転倒リスクの少ない工夫を配置で補いつつ、今まで使用していた馴染みの物(寝具やタンス、TVなど)を持ち込んだり、思い出の品を飾っている。</p> | | |
| 55 | | <p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>トイレや居室など、分かりやすく(案内を貼り)工夫をし、転倒しないよう障害物には気を配っている。</p> | | |